



2012

「田んぼの学校」指導者養成研修

開催のご案内

山形県河北町

コーディネーター研修

▶ **7/20 (金) ~ 21 (土)**

参加募集期間 5/28~7/6

栃木県塩谷町

現場指導者研修

▶ **10/26 (金) ~ 27 (土)**

参加募集期間 8/20~10/12

農村環境を活用した自然体験や環境教育に関心がある方、地域のリーダー・指導者を目指している方におすすめの研修です。(今年度2回開催)

研修コース

環境教育・田んぼの学校の企画・運営・実施に携わろうとする方は、**両コース**にご参加いただくと、開催・実践のための一連のノウハウが得られます。

- 環境教育活動で地域づくりを仕掛けていこうとしている方
- 自治会や子供会、農地・水保全管理支払交付金組織の役員の方
- 改良区、県土連、行政関係の企画担当の方 など

➡ **コーディネーター研修 (山形県河北町)**

※次頁以降の詳細をご覧になりご応募ください。

- 環境教育プログラムの実施を担当される方
- 子供たちの「先生役」となる方、または依頼された方
- グリーン・ツーリズムなどの受け入れを依頼された方

➡ **現場指導者研修 (栃木県塩谷町)**

※8月以降の応募となります。

平成 24 年度「田んぼの学校」指導者養成研修

(コーディネーター研修) in 山形県河北町

募集要項

《開催日：平成 24 年 7 月 20 日（金）～21 日（土）》

この研修は、田んぼや水路、ため池、里山などを遊びと学びの場として活用する「田んぼの学校」を地域において実施するための基礎的な知識や実践ノウハウを学ぶ体験です。

今回の「コーディネーター研修」では、山形県河北町元泉地区の「めだかの学校」の取り組みを通じ、「田んぼの学校」の開催に向けた地域との調整、人材活用、地域づくりへの展開など企画・運営に必要なとされる視点を磨きます。また、実際に子ども達と一緒に環境教育プログラムを体験できます。

◇ 協力団体：元泉地区保全会

農地・水保全管理支払交付金を活用し、地元自治会と連携しながら「環境整備構想」「めだかの学校」「都市農村交流（町内地区間交流）」など農業農村の多面的機能を活用した多様な取り組みを実践しています。



写真：H23の研修の様子（山形県河北町）

～ 農業農村整備分野等との連携 ～

●農業農村工学会技術者継続教育機構

本研修は、農業農村工学会技術者継続教育機構の認定プログラムに申請中です。本研修のCPDは、ポイントとなる見込みです。

●「農地・水保全管理支払交付金」「食と地域の交流促進対策交付金」

本研修の参加にかかる費用の一部については、研修参加費用として認められています。

1. 目的：

農業・農村を遊びと学びの場として活用する「田んぼの学校」を通じて、地域づくりを仕掛けていこうとする際の考え方や留意点、企画の際に必要な手順やノウハウを理解し、環境教育を通じた地域づくりをコーディネートする人材を養成することをねらいとしています。

2. 主催：社団法人 地域環境資源センター 共催：河北町、元泉地区保全会

3. 開催日：平成 24 年 7 月 20 日（金） 12 時 30 分 集合（13 時開始）
21 日（土） 15 時 00 分 終了〈1泊 2日〉

※公共交通機関でお越しの方は「JR 新幹線さくらんぼ東根駅」から送迎バスをご利用ください。
帰りは実施研修場所から JR 新幹線 さくらんぼ東根駅まで車でお送りします。

4. 会場：集合場所／宿泊・・・べに花温泉ひなの宿（河北町谷地字下野 269）
研修・実施・・・畑中集落センター、元泉地区地内



5. 対象者：

土地連職員、農地・水等交付金活動組織の役員・構成員、自治体職員の企画担当の方、その他農村環境を活用した自然体験・環境教育に関心のある方

6. 定員：25名（最小催行人員15名）



7. 参加費：参加負担金として5,300円（保険料含む）（銀行振り込み）

また、参加負担金とは別に、以下の通りの宿泊・食事代など、計9,000円程度が必要となる予定です（現在調整中であります）。

(1) 宿泊費：4,500円（1泊、2日目朝食）（当日支払）

* お部屋は相部屋（2～4人）となります。ご了承ください。

(2) 食事：1日目夕食＋情報交換会 4,000円程度（当日支払）

(3) : 2日目昼食 500円（当日支払）

* 受講料の納入は指定の銀行口座への振込のみとさせていただきます。予めご了承ください。

* また、宿泊費、食事代は当日集金させていただきます。宿泊施設等より内訳を示した領収書が発行されます。

* 食事、交流会費については調整中であります。

8. 申込み・問合せ：

所定の申込用紙に必要事項を記入いただき、FAXまたはメールにて以下の宛先にお送りください。7月6日（金）18：00を締切りといたします。

社団法人 地域環境資源センター 農村環境部 調整班 宛
【FAX宛先】 03-5425-2466
【メール宛先】 tanbogk@jarus.or.jp

申込用紙は、田んぼの学校のホームページからもダウンロードできます。お問い合わせは、社団法人地域環境資源センター 農村環境部 調整班（担当：藤田）までお願いいたします。

住所 〒105-0004 東京都港区新橋 5-34-4 農業土木会館 1F

TEL 03-5425-2461

HP（田んぼの学校）：<http://www.tanbonogakko.net/index.php>

9. 申込の受理および受講決定：

お申し込みは、先着順に受理します。参加者には開催日 1 週間前までに「事前資料」をお送りいたします。また、最少催行人数に達せず中止となる場合は、7月13日（金）までにご連絡させていただきます。

講師の紹介：

◇井東敬子（リードクライム株式会社取締役）

…自然体験型環境教育の専門家として、インタープリター養成、国設の自然学校第1号「環境省 田貫湖ふれあい自然塾」の立ち上げ等を行う。

◇北澤大佑（社団法人 地域環境資源センター 研究員）

…農村環境、地域福祉、都市農村交流などの視点から、地域振興・地域づくりを研究している。日本中を巡り数々の事例を蓄積。

◇守山拓弥（社団法人 地域環境資源センター 研究員）

…農村における生態学や環境保全が専門。豊富な知識でDASH村（日本テレビ）の里山博士としても出演。

カリキュラム

- * これまで、自然体験活動等の指導経験がない、あるいは、少ない方を対象としたカリキュラムとしています。研修運営もこのような点から十分に配慮いたしますので、自然体験活動や、体験型の研修に不慣れな方も安心してご参加ください。
- * 屋外での実習もありますので、動きやすい服装でご参加ください。また、雨天でも基本的に屋外には出ますので、雨具（セパレート型のレインウェア等）もご準備ください。

【1日目：7月20（金）】

時間	所要	講義・実習	概要
12:30		集合、受付(べに花温泉ひなの宿)	
13:00	30分	開会(挨拶、趣旨説明、スタッフ紹介等)、オリエンテーション	
13:40~14:30	50分	心と体の準備運動 ～アイスブレイク～	どんな人が来ているのか相互理解を深めましょう。
14:30~15:10	40分	地域づくりと環境教育との関係を 理解しよう －元泉地区の取り組みから－	元泉地区では、なぜ環境教育を地域づくりの中で展開しているのか。住民の代表者のお話や視察を交えて考えてみます。
15:20~16:00	40分	地域づくりへの展開を考えてみよ う1－コーディネーターの役割－	地域づくりに向けた取り組み・地域の人材の活かし方のポイントなどを考えてみよう。
16:00~17:00	60分	地域づくりへの展開を考えてみよ う2－具体的な取り組み例－	メダカの保全と環境保全型農業など元泉の取り組みから地域づくりへの展開を学びます。
18:30~20:30		夕食／情報交換会	

【2日目：7月21（土）】

時間	所要	講義・実習	概要
8:30~9:30	60分	リスクマネジメントの視点を学ぼう	特に野外での事業を実施する際のリスクマネジメントの視点を学びます。
9:40~12:00	140分	環境教育プログラムを体験しよう	元泉地区の「めだかの学校」に参加します。子どもたちと一緒に田んぼの中の生きものを観察してみましよう。
12:00~13:00		昼食	
13:00~14:30	90分	プログラムを企画しよう	2日間の体験で学んだ内容を活かしてあなたの地域での「田んぼの学校」を企画してみましよう。
14:30~15:00	30分	まとめとふりかえり	
15:00		終了・解散	

- * 各講義、実習の間で適宜休憩をとります。
- * 効果的な研修となるようカリキュラムを変更することがあります。予めご了承ください。